

【教育目標】 未来をひらく豊かな社会をめざして
 ◎ 自ら進んで学ぼう ○ 思いやりの心 感動する心をもとう ○ たくましく 心と体をきたえよう

※評価は4段階(A…9割以上達成、B…8割以上達成、C…5割以上達成、D…達成5割未満)

学校評価計画		学校評価報告 / 自己評価					
目指す学校像	評価項目 (=中長期的目標)	評価方法・目標水準	評価結果	評価			(上段)○学校関係者評価の概要及び意見 (下段)●考察及び、次年度への課題と解決策
				自己評価	関係者評価	最終評価	
◎感動あふれる学校	○確かな学力の向上	①総合的な学習の時間を中心にプレゼンテーション・発表活動を充実させ、年に1回以上PCを用いた発表する機会を設定する。授業の中で タブレットPC を効果的に活用する。 (令和3・4年度日の出町研究指定の実践の継続) ②思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫する。 【主体的・対話的で深い学び】 【日の出町学習スタンダード】 [個人グループ(協働学習)→全体での活動]を徹底する。 ③家庭学習の習慣を付けるため、 【学習見える化計画表】 に取り組み、学習のきっかけをつかませる。 ④テスト前の 質問教室 は全教科で行う。また、休業中の 学習教室 は年間15日以上実施する。放課後学習教室を毎週火曜日と水曜日に開催する。					
	○自尊感情を高め、学校生活の充実を図る	①体育祭、音楽会、職場体験における生徒の表現力を向上させる。保護者アンケートで、各行事で感動したと回答する割合を80%以上にする。 ②一人一人に適した卒業後の進路決定。卒業式までに生徒の進路先を100%決定する。 ③体育祭、合唱会に生徒全員参加率を90%以上にする。 ④夏季休業中を利用して生徒が2校以上高校訪問を行う。進学講演会、進路説明会の充実。更に、進路説明会保護者の参加率を90%以上にする。					
◎道徳教育が充実している学校	○人権尊重の意識の醸成・自他を尊重する心や態度の育成	①生徒アンケートで、悪口、言葉の暴力や意地悪をしなかったと答える生徒を90%以上にする。 ②全校で 人権作文 に取り組み、生徒の作文提出率を90%以上とする。 ③道徳授業の充実。 4人グループでの話し合い活動を取り入れ 【考える道徳、議論する道徳】 を行う。 ④年3回のふれあい月間終了時にいじめに関する実態調査を行い、記載事項については聞き取り調査も実施し、初期対応に当たることで問題解決させる。					
◎真に信頼される学校	○保護者や地域との連携の推進	①保護者アンケートにおいて、「学校の情報や生徒の様子に分かりやすく伝えられている」と答える保護者の割合を90%以上にする。 (学校HP、学校だより、学年だよりで情報発信する。宿泊行事等は 【すぐメール】 でリアルタイムに情報発信し、家庭に様子を伝える。) ② 【日の出町教育ビジョン2023】 家庭・地域・学校が 【かかわりと】 と 【つながり】 を意識した取組を推進し、「学び」の成果を地域や次の世代に伝える 【学びの循環】 を大切に。 ③全ての判断基準を 【生徒ファースト】 決められたルールの中でまず、生徒に必要かどうか、教育的効果を考える中、教員の働き方改革を考慮しつつ、保護者・地域の理解を得る。 ④学校行事、学校公開の積極的な公開の推進。 学校行事における地域からの参加者のアンケートで「満足した」と回答する率を90%以上とする。					
	○組織的な学校運営の推進	①自己評価で組織的な運営ができたと答える教員の割合を90%以上にする。 主幹教諭を軸とした組織的な学校運営の推進。 ②不登校生徒の 【居場所づくり】 を重視し、複数の教員での 【つながり】 をもつことで寄り添い指導を徹底する。 支援コーディネーターを中心に、SCや町教育相談と連携する。 ③毎朝の経営会議で3名の主幹教諭への指示・伝達を行うことで、学校経営への参画をさせ、各分掌及び学年による 【若手教員に対するOJT】 を充実させる。 ④生活指導部と連携し、情報交換に留まらず、指導方針を打ち出し徹底する。生活指導主任を中心に各学年の生活指導担当と連携を図り、問題解決に即時取り組み解決させる。					